

# 学校は今、ピンチです

学校は今、かつてないピンチに立たされています。臨時休業は2ヶ月にも及び、授業時数は120～150時間減っています。臨時休業中に学習課題を出してきましたが、子どもの取組状況や定着度には、大きな個人差が生じていることも事実です。したがって学校には、校内の感染防止対策や個別の補充指導、子どもの心のケアや偏見・差別を生まない配慮など、多岐にわたる業務が新たに加わっています。私たち教職員は、子どもを守り育てていくために、緊張感をもって増大した業務に取り組んでいます。しかし、通常勤務だけでも教員の多忙化は社会問題になっている上に、こうした対応が「新しい生活様式」として常態化することになれば、教職員がさらに疲弊していくことが心配されます。教職員が疲弊すれば、子どもたちに十分な指導ができなくなります。新型コロナウイルスから子どもの健康と安全を守りつつ、いかに教育の質を保障していくかという難題に直面しているのです。

「未来の創り手」である子どもを育てる学校が、今の状況の中で本来の機能を発揮するためには、社会全体で学校を支えていく体制が、今こそ必要です。どうかご協力をお願いします。

今、本校で保護者及び地域の皆様にご理解・ご協力をいただきたいことは、次のことです。

## <夏季休業の短縮>

別配付の市教委の文書にあるように、夏休みを短縮し、8月7日(金)までを授業日とすることになりました。この措置により60～70の授業時数を確保することができます。本校ではすでに教育課程を組み替えて、計画的に授業を進めることができるようにしました。例年とはかなり違った夏休みになるかと思いますが、ご理解ください。

## <授業と家庭学習の連動>

1号でも述べましたが、限られた時間の中で学習を効果的に進めるためには、家庭学習を連動させることがとても重要です。例えば、家庭学習で教材文を音読していることを前提に、学校で国語の授業を進めたり、授業で学習した内容を家庭学習で練習して習熟を図ったりすることになります。これからは「家庭学習は授業の一部」なのです。この意識をもつように子どもたちに指導しましたので、保護者・ご家族の皆様からも励ましてください。

**ただし、子どもの心のケアも必要です。学習の遅れを取り戻そうという大人のプレッシャーを感じて、ストレスを抱える子どももいると思います。そのストレスが頭痛や腹痛、登校しぶりとなって現れることがあります。それは、子どものSOSのシグナルですので、早い段階から担任にご相談ください。**

## <ボランティアの協力をお願いします>

今、学校に一番必要なのは「人的支援」です。具体的には次の3種類の支援を保護者の皆様をお願いしたいと考えています。

### ○ 校内の共用部分の消毒

放課後に照明のスイッチや階段の手すり、水道やトイレのハンドル等を消毒する作業のお手伝いをお願いします。

### ○ トイレと水道周りの清掃

清掃や着替え時の密集を解消するために、4年生以上が1～3年生の教室も分担して10分間で床掃きを中心に掃除するようにしました。したがって、トイレや床の拭き掃除が十分にできないので、お手伝いをお願いします。

### ○ 水泳の授業の監視

密集を解消するために、2つの学級で水泳の授業を行うことにしました。そうするとプールサイドから全体を監視する人が不足しますので、お手伝いをお願いします。

以上のことについて、現在PTA役員の皆様と協議しているところです。近日中にボランティアをお願いする文書を配布しますので、都合のつく時間にご協力いただければと思います。

この他に学習支援にもご協力いただきたいと思います。この件については、市教委が募集することになると思いますので、教員を退職された方や大学生の方のご協力をお願いしたいと思います。

## <登校は7:45を目安に>

昇降口を開ける時刻は、7:45とお知らせしてあります。校舎の安全を確認し、感染防止体制を整えた上で子どもを迎えるために、この時刻にしてあります。今週は7:45前に登校する子どもたちで昇降口前が密集状態になりそうでした。状況を見てみると、7:50～8:00の時間帯がスムーズにいくようです。ご家庭によっていろいろな事情があるかとは思いますが、この措置はこれからもずっと続きますので、今のうちにお子様ができる方法を考え、具体的に指導していただきたいと思ひます。